事務事業評価シート

評価年度 令和元年度 対象事業年度 平成30年度

所属· 担当者氏名 市民部 人権施策課 男女共同参画推進係 杉本利恵 評価責任者 (担当課長) 人権施策課長 宮田裕行

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称		男女共同参画推進事業(市民フォーラム) ② 整理番号 02080101-00									
	章	心豊かな市民・教育・福祉									
③ 第4次総合計 節 男女共同参画社会の実現											
画の施策の体 系	項	男女共同参画社会の推進									
	号 男女平等意識の浸透										
④ 関連する個別計	画	大和高田市男女共同参画プラン ビッグステップ (第3次) ⑥ 事務の種類 自治事務									
⑤ 根拠法令・条例等	等	大和高田市男女共同参画推進条例									

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	実質的な男女共同参画社会を実現するためには、法や制度の整備とともに、家庭や職場、地域など社会のあらゆる分野を社会的性別(ジェンダー)の視点でとらえることが必要である。そのために、広く市民にむけて、社会的性別(ジェンダー)による差別解消に向けた意識改革のための啓発ならびに男女平等や男女共同参画についての正しい知識や自立の意識の浸透を図る。
② 対象 (誰・何を対象として)	市民
③ 手段 (どのようなやり方で)	多くの市民が参加できるように、さざんかホール(小ホール)においてフォーラムを開催する。講演者を招き、講演会を実施。講演会のみに留まらず、オープニングに市民会議委員の活動紹介を兼ねて、市民会議委員による啓発活動を実施
④ 成果 (どのような効果を得ようと しているのか)	男女共同参画社会の実現。社会的性別(ジェンダー)による差別解消に向けた意識改革ならびに男女平等や男女共同参画についての正しい知識や自立の意識の浸透

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移 ※概算人件費は「人件費計算シート」による (単位:千円,人)

		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
① 直接事業費			220		220		224		124	(予算)	80
②概算人件費		(0.10)	730	(0.10)	764	(0.09)	617	(0.09)	618		
	(関与比率) 一般職員	(0.10)	730	(0.10)	764	(0.09)	617	(0.09)	618		
	(関与比率)嘱託職員										
	(関与比率)臨時職員										
③ 合	計(①+2)		950		984		841		742		
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)										(当初予算)	
⑤ 一般財源 (③ - ④)			950		984		841		742		

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実 績 値								
生規	11 1	1日保の昇山刀伝等	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度					
活動 指標	① 開催回数		1 回	1 回	1 回	1 回					
拍係	2										
成果	① 参加者数		210 人	236 人	203 人	100 人					
指標	2										
効率	① 参加者1人当たりのコスト	事業費/参加者数	4,524 円	4,169 円	4,143 円	7,420 円					
指標	2										

5. 項目別評価

評価の視点	3段階 評 価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	国が基本法を制定し、市も男女共同参画社会の実現を目指し、条例を制定している。また、市は条例に基づき大和高田市男女共同参画計画ビックステップ(第3次)を策定しており、男女共同参画社会の実現を目指し、市が直接実施する事業として妥当である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上して いない場合向上のために改善の余地 はありますか)	A	自治会掲示板や新聞、ホームページなどで広く周知することで、市民 会議参画団体の関係者のみならず、市内外から多くの一般参加者が あり、市内外を問わず、男女共同参画についての理解者が増加して いる。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、 不適切な場合改善の余地はありま すか)	В	参加者を増やしつつ、コスト改善を行い事業費を抑えるようにしている。「男女共同参画推進市民会議」がボランティアで運営、催しに関わっているが、更なるコスト改善を図る余地がある。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」 の場合に限る。)
	□ 人件費の重点化□ 予算の重点化 □ 事業の縮小 □事業の統合 ■実施内容の変更 □ その他
В	現在、「男女共同参画推進市民会議」と協働して事業を行っている。今後は、実行委員会形式で、市民 向けのフォーラムを開催し、市民主導での活動ができないか検討している。市民主導での活動が定着す れば、更なる男女共同参画の啓発が期待できるとともにコストの削減にもつながる。

7	2次評価	Δ	現状のまま継続、	B	見直し	(重占化	縮小	統合など)	のう	ラ継続	C	休止	D :	宗マ ・	・鹵朮
	4 久田 岡	$\overline{}$	シボイベマノ み み かかかん	\boldsymbol{L}	元旦し		MH 11.	. INL 🗆 '& C /	· · · · · ·	/L /\PL \n/\.	\sim	VI\		<i>J</i> L J	/JE: JL

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)